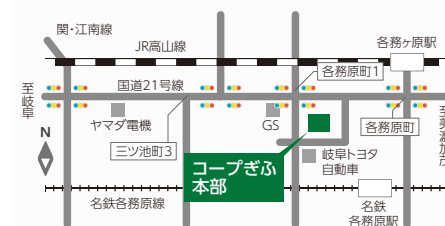



生活協同組合 コープぎふ
 本部 〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1
 TEL 058-370-6888
<https://www.coop-gifu.jp>



理 念

笑顔あふれる協同のくらし

わたしたちの願いは、すべての人たちの幸せです。

一人ひとりが地域社会の一員として大切にされ、イキイキと心豊かに暮らせる

笑顔あふれる協同のくらしの実現をめざします。

そのために、生協は人と人の架け橋となり、地域社会におけるくらしの安心のよりどころになります。

わたしたちが暮らす岐阜県の豊かな自然や歴史、伝統文化を大切にし、

地域の諸団体とのネットワークを広げ、くらしやすい地域づくりを一緒になってすすめます。

組合員の知恵と力で事業や活動を活発にし、お互いに助け合い、分かち合う協同のよさを広めます。

そして、地域の人々のくらしに役立ち、生涯を通じて利用できる安心・信頼の生協となります。

中期方針

コープぎふの中期方針「みんなでめざしたいコープぎふの姿」は、常に5年先をイメージして毎年必要な見直しをおこない、社会情勢や組合員の“くらしの声”をもとに検討していきます。

みんなでめざしたいコープぎふの姿

- I. 「幸せにくらしたい」の願いの実現をめざします。
- II. 商品の価値を伝えあい、くらしを豊かにします。
- III. 地域の中で、健康にイキイキと暮らせることをめざします。
- IV. 組合員の喜びと職員のやりがいとが重なりあうようにします。
- V. 未来に続く安定した事業経営基盤をつくります。



コープぎふのロゴマークの意匠
岐阜県の形をモチーフに、上部の円形は飛騨、下部の流線型は美濃をシルエット化しています。
オレンジ色は光り輝く太陽…「温かさ」で、安心と平和・福祉・健康を表しています。
緑色は永遠を象徴する松…「やさしさ」で、安全と生活・環境・文化を表しています。



ごあいさつ

おかげさまで20周年

おかげさまでコープぎふは、誕生から20周年を迎えることができました。

コープぎふは1999年に県内3生協（飛騨生協、岐阜消費生協、岐阜地区市民生協）が合併して誕生しました。前史からたどると大変長きにわたって、お取引先の皆様、地域の皆様、そして組合員や役職員に支えられてきたことに心から感謝を申し上げます。

現在、コープぎふの組合員は24万人を超えるまでになり、県内のおよそ10軒に3軒のお宅が加入いただく生協となりました。本格的な人口減少、超少子・高齢化の時代を迎え、人と人とのつながりや地域の活力の低下が危惧されています。しかし、高度経済成長期に食の安全や環境問題などで生協が力を発揮したように、いつの時代も生協は社会が直面する課題に真正面から取り組んできました。日本の協同組合の生みの親と言われる賀川豊彦氏は、「生協を一言で言うと助け合いの組織」と言いました。たすけあい、相互扶助を精神とした人と人との協同の組織である生協の役割は、このような時代の中であって今後益々重要になると思います。

これからも地域のくらしに一層お役立ちできますよう、組合員、役職員が力を合わせて奮闘してまいりたいと思います。



代表理事 理事長 大坪 光樹

祝 辞

創立20周年を祝して

この度、生活協同組合コープぎふが創立20周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴組合におかれましては、その発足以来、食の安全・安心をはじめ、防災、福祉、環境、地域安全など様々な分野の活動に積極的に取り組まれ、安心して暮らせる岐阜県づくりに多大なご貢献をいただいていることに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県でも本格的に人口減少・少子高齢化が進行しておりますが、県では、こうした状況にあっても、地域の活力を失うことなく、安全・安心で、かつ持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを進めていくため、本年3月、今後5年間の方向性を示す『「清流の国ぎふ」創生総合戦略』を策定し、各種施策を展開しているところです。

このような中、貴組合が「笑顔あふれる協同のくらし」を組合理念とし、支え合い、助け合いによる生協活動によって地域づくりに重要な役割を果たしておられることを大変心強く感じており、今後も、県民の暮らしの一層の向上のため、貴組合の更なるご活躍を期待する次第です。

結びに、創立20周年を契機として、貴組合が一層ご発展されますとともに、組合員皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



岐阜県知事
古田 肇

創立20周年に寄せて

この度はコープぎふ創立20周年、誠におめでとうございます。虹の会岐阜地域部会を代表して心からお祝い申し上げます。こうして20周年を迎えられたのも、コープぎふ職員皆様の日々のご努力の成果であると拝察いたします。それに加え、これまでの大きな支えとなっているのは組合員様の存在でもあります。

私も虹の会の代表という大任を仰せつかり7年間、コープぎふ様と組合員様との様々な取り組みや、交流を見てまいりました。そこでコープぎふ職員の方々が組合員様の暮らしの豊かさを常に考えて行動する姿、また組合員様はコープぎふは自分たちの組織であるという考えのもと、その組織を愛する姿を見てきました。それを見て、やはりコープぎふはこの地域になくてはならない組織であるし、人と人とのつながりが素晴らしい組織であると感じております。私ども虹の会も、そこに微力ながら貢献できることを幸せに感じております。今後も皆様により一層信頼していただける虹の会を目指していく所存でございます。

コープぎふ様の益々のご繁栄と組合員様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



虹の会岐阜地域部会代表
カネ井青果株式会社
代表取締役社長
藤井 雅人

共に新たなステージへ

生活協同組合コープぎふ創立20周年おめでとうございます。この間の組合員のご支援と職員の皆さんの努力に敬意を表す次第です。

コープぎふは、「笑顔あふれる協同のくらし」を理念に、組合員の知恵と力で事業や活動を活発にし、お互いにたすけあい、分かち合う協同のよさを広げる取り組みに努力されています。人口減少や高齢化・少子化が進行する社会で、たすけあい、つながりづくりがより重視され、協同組合・生協への期待も高まっています。また、SDGs持続可能な開発目標に向けて、生協の取り組みが注目されています。

これからも、より厳しくなる事業環境のもと、東海3生協と事業連合が力を合わせ、東海地域に生協の事業と活動を広げ、地域のくらしに貢献していきたいと考えています。私たちの連帯に、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。



生活協同組合連合会
東海コープ事業連合 理事長
森 政広

前史 ~2009まで

平成21年



1963
生活協同組合飛騨生協
(以下、飛騨生協)設立

1971
岐阜消費生活協同組合
(以下、消費生協)設立

1973
岐阜地区市民生活協同組合
(以下、市民生協)設立

1975
全岐阜県生活協同組合連合会
設立(1976年認可)

1987
市民生協と飛騨生協業務
提携

1992
岐阜県協同組合間連携が
スタート

1997
県内3生協が合併していく
方針を総代会で採択

○生活協同組合コープぎ
ふ誕生。合併により組
合員が岐阜県下99市
町村に広がる
○くらしを守る消費税オ
フ活動
○合併記念企画「くらし
フェスタ99」を各地域
で開催
○機関誌DEKO創刊
●コープぎふ福祉サポ
ートセンター発足

○食品衛生法改正署名へ
の取り組み(全県で署
名者数は218,968名)
○東海コープ商品検査セ
ンターを開設
○ISO14001認証取得
○農産物の独自認証制
度「栽培自慢」スタート
○映画「郡上一揆」の製作
協力・上映運動
●福祉サポートセンター
に介護用品商品ルーム
完成

○岐阜市、各務原市山火
事に災害協定発動
○芥見店オープン

○コープ宅配、コープ
スマイル便スタート
○多治見支所開所
(旧多治見支所と可茂
支所統合)

○豚肉不祥事発生
○第3者委員会「対策・改
革検証委員会」の設置

○コープぎふ誕生5周年
の取り組みを全事業所
で開催
●福祉サポートセンター
岐阜開設

○岐阜県安全・安心まち
づくりフレンドリー企業
に登録
○子ども110番、防犯パ
トロール
●葬祭事業スタート
●家電修理販売スタート

○福祉活動助成基金創設
○尾崎店全面建替え
○長良店増床リニューアル
オープン

○可児店増床リニュー
アル

○たすけあい共済元受返
上、コープ共済連へ統合
●コープデイサービス蘇
原オープン

○白川村への事業拡大
○コープ共済連に加盟、共済
事業の全面受託事業開始
○コープぎふ10周年記念
式典と企画事業
○「おたがいさまで」設立
○恵那店オープン

	1963→	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	
開発商品					[合併記念商品] 明方ハム 若鶏のケイちゃんピリ辛みそ味 岐阜飛騨産とまとじゅうす	カットした糸こんにゃく 駄まんじゅう 飛騨中華そば	煮込み酢 ケイちゃんしょうゆ味	TCミニもめんとうふ 板とうふ こもとうふ TC野付産秋鮭切身(骨抜き)	赤かぶ菜とこんぶのしょうゆ味 2分半de生パスタ TCミニきぬとうふ 便利な細切りこんにゃく	スモーク薫るロースハム	岐阜県産トマト使用カット トマト	
くらしの活動	「楽しくなければ生協 じゃない」合併記念			組合員施設大洞虹の家 オープン やっぱり家族の笑顔が一 番大切ね大交流会開催	食品表示ウォッチャー養 成講座開始	商品探検隊、組合員レ ポーター		おしゃべりパーティー、 Let'sチャレンジスタート 戦争体験聞き書き集(第 1集)発行 LPAの会発足				産地見学マップ発行

社会の出来事

西暦2000年問題が発生
地域振興券を交付
世界の人口が60億人を突破
マカオ、中国へ返還

ハノーバ万博(ドイツ)が開幕
二千万札が発行
ジョニー五輪が開幕
白川英樹がノーベル化学賞を
受賞

アメリカ同時多発テロが発生
(9.11)
狂牛病が日本で確認される
日経平均株価終値で1万円を
下回る
敬宮愛子内親王が誕生

欧州12カ国でユーロの流通開始
ソルトレイクシティ冬季五輪が開幕
日韓W杯が開幕
小柴昌俊がノーベル物理学
賞、田中耕一がノーベル化学
賞を受賞

イラク戦争が勃発
中国で新型肺炎SARSが大流行
住民基本台帳ネットワークが稼働
米国でBSE発生(米国産牛肉
輸入停止)

自衛隊イラク復興支援派遣開始
アテネ五輪が開幕
新潟県中越地震が発生
インドネシア・スマトラ島沖大地震
が発生

中部国際空港が開港
愛知万博「愛・地球博」が開幕
知床、世界自然遺産に登録
耐震強度偽装事件が発覚

トリノ冬季五輪が開幕
フィギュアスケート荒川静香選手
が金メダル
第1回WBCで日本が優勝
能登沖地震が発生

中越沖地震が発生
猛暑多治見市で40.9度
郵政民営化がスタート
各地で食品偽装発覚
(不二家、ミートホープ、赤福など)

中国製餃子農薬混入事件が
発生
iPhoneが日本初上陸
北京五輪が開幕
米証券会社リーマン・ブラザーズ
が破綻(リーマン・ショック)

ETC休日特別割引が開始
「エコカー減税」がスタート
米「ゼネラル・モーターズ」が破綻
消費者庁が発足



コープぎふの取り組み

- 「コープぎふの森・関」を開設
- 恵那店で献血推進活動を開始
- 消費者ネットワークぎふの設立と参加



「コープぎふの森・関」を開設

「岐阜県」「関市」「中濃森林組合」「コープぎふ」の4者で協定を結び、関市迫間に「コープぎふの森・関」を開設。森林整備ボランティアや自然観察会などを開催しています。



恵那店で献血推進活動を開始

恵那店での定期街頭献血推進活動が始まりました。



コープの森づくり マングロープの植樹活動資金の取り組み開始(インドネシア)

コープぎふ・コープあいち・コープみえ・東海コープと一緒にマングロープの植樹活動資金の取り組みをはじめました。



消費者ネットワークぎふの設立と参加

岐阜県内の消費者や消費者団体、専門家がネットワークを結び、消費者被害の未然防止や自立した消費者の育成を目指します。



れんげファミリートラック始動

コープぎふの公式キャラクターれんげファミリーをデザインしたトラックが地域を走り始めました。



店舗クレジット決済スタート

店舗でのお支払いに、各種クレジットカードをご利用いただけるようになりました。

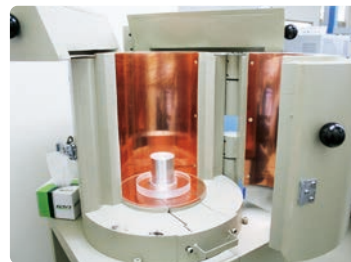
コープぎふの取り組み

- 東日本大震災 被災地支援活動
- 働きたい!応援団ぎふに登録
- 夕食宅配スタート



東日本大震災 被災地支援活動

発災後1か月間は緊急物資の運搬と被災生協・被災地への人的支援を、4月中旬よりコープ共済給付の手続きとお見舞い金支給の支援を行いました。



東海コープ商品検査センターに放射性物質検査機器を導入

日本生協連で行う「家庭の食事からの放射性物質摂取量調査」にコープぎふからも毎年2家族にご協力をいただいています。

働きたい!応援団ぎふに登録

障がいのある生徒の就労支援を積極的に行う企業として、働きたい!応援団ぎふ第1号登録しました。



夕食宅配スタート

夕食宅配サービスが始まりました。



放射能学習会を開催

各地域で放射性能学習会を行い、放射性物質や原発について学習を進めました。



岐阜県ユニセフ協会設立

岐阜県ユニセフ協会とコープぎふが連携し、ユニセフの輪を地域に広げる取り組みを行います。

くらしの活動



防災塾



食品表示ウォッチャー

開発商品

若鶏やきとり用もも串15本入り
(岐阜南)

社会の出来事

- バンクーバー冬季五輪開幕
- 小惑星探査機はやぶさ帰還
- APEC 首脳会議開催(横浜市)

組合員数 20万6,335人

出資金 37億9,733円

事業高 262億4,923万円

くらしの活動



「栽培自慢」産地確認交流会



おじいちゃんから聴く戦争の話(西濃)



JAひがしみの田植え交流会

社会の出来事

- 東日本大震災発生
- TV地上デジタル放送開始
- 今年の漢字に「絆」

組合員数 21万1,662人

出資金 38億2,816円

事業高 264億9,855万円



コープぎふの取り組み

- ◎ ぎふ清流国体・ぎふ清流大会のオフィシャルサポーターとして応援
- ◎ 国際協同組合年の取り組み
- ◎ 東日本大震災被災地を応援する取り組み



ぎふ清流国体・ぎふ清流大会をオフィシャルサポーターとして応援

ミナモ広場（おもてなし広場）にテントを出し、全国から来場された選手・関係者に岐阜県自慢の「五平餅」や「さるぼぼ」を販売し、応援しました。



東日本大震災被災地を応援する取り組み



福島の子どもたち保養企画inぎふ開催

福島の親子35名を岐阜に招待し、手作りの歓迎クリスマスパーティーで交流しました。不安やストレスをかかえながら暮らす子どもたちに「夢・笑顔・元気」をプレゼントしました。

被災地復興支援の取り組み

「3.11を忘れないinぎふ 〜つなげよう・ひろげよう! よりそう心!」として復興支援の取り組みを開催しました。



被災地応援商品を企画

商品の利用を通して被災地を応援しようと「がんばろう東日本」商品、JA伊達みらい（福島県）の桃を企画しました。現地に職員や組合員が赴き、安全性や生産者の努力をお聞きしました。



国際協同組合年の取り組み

みのかも健康の森で、県内6つの協同組合の組合員とその家族と一緒に植樹しました。



飛騨エリアの組合員がデザインした「さるぼぼ」を、飛騨のさるぼぼ製造協同組合と共同で制作し販売しました。

くらしの活動



郡上で耕作休止地の活用、食料自給率の向上の取り組み

飼料用米の圃場の見学や稲刈り、学習会を行いました。

開発商品



長良店こだわり弁当



明方ソーセージ(中濃)

社会の出来事

○国際協同組合年 ○東京スカイツリー開業 ○ロンドン五輪開幕

組合員数 21万6,721人

出資金 38億7,633円

事業高 265億6,521万円

コープぎふの取り組み

- ◎ 地産地消のつどいを開催
- ◎ コープの森づくりの取り組み
- ◎ 芥見店、恵那店、可児店リニューアル



地産地消のつどいを開催(岐阜・西濃・奥美濃)

地元の農産物を知って、食べて、好きになってもらおうと、生産者と一緒に地産地消のつどいを開催しました。



コープの森づくりの取り組み



「コープの森 北海道野付のお魚を増やす植樹活動協議会」を設立

コープぎふ・コープあいち・コープみえ・東海コープ・野付漁協・北海道漁連との間で「コープの森 北海道野付のお魚を増やす植樹活動協議会」を設立し、北海道別海町にて白樺・イヌエンジュ等の植樹をすすめています。

「コープの森 沖縄恩納村の里海づくり協議会」を設立
コープぎふ・コープあいち・コープみえ・東海コープ・恩納村漁協・井ゲタ竹内・恩納村との間で「コープの森 沖縄恩納村の里海づくり協議会」を設立し、サンゴの植え付け活動による里海づくり活動をすすめています。



TPP学習会

くらしにとって重要なテーマをみんな考える場として、TPP学習会の開催やアンケート等を行いました。

福島土壌スクリーニングプロジェクト参加

安心して住める福島を取り戻すための活動として、全国の生協の仲間と一緒に土壌スクリーニングプロジェクトに参加しました。



車椅子の方もご利用いただきやすくなりました。

芥見店、恵那店、可児店リニューアル

くらしの活動



りんごde皮むき交流会



組合員レポーター
（岡ヨコオ（佐賀県）を訪ね、産地をレポートしました。）

開発商品



岐阜県産
トマトうらごしタイプ（西濃）

社会の出来事

○TPP交渉参加正式表明 ○2020年五輪、東京に決定 ○和食、ユネスコ無形文化遺産登録

組合員数 22万1,063人

出資金 38億8,623円

事業高 264億1,919万円

2014

平成26年度



コープぎふの取り組み

- ◎ コープぎふ誕生15周年フェスタ開催
- ◎ おたがいさま東部設立
- ◎ 太陽光発電システムを多治見支所、岐阜西支所に設置



コープぎふ誕生15周年フェスタ開催

15周年を記念して「つながりあって“ぎふ”まるごと実感フェスタ」を2日間にわたり岐阜市産業会館で開催しました。フェスタでは「お母さんのための食の安全教室」も行いました。



おたがいさま東部設立

東部地域にもおたがいさまの輪が広がりました。



太陽光発電システムを設置

多治見支所、岐阜西支所に太陽光発電システムを設置しました。



日本生協連でレッドカップキャンペーンを開始
対象商品をお買い求めいただくと1品につき1円が国連WFPに寄付されます。2016年までの3年間はガーナ共和国、2017年からはカンボジア共和国を支援しています。



コープぎふ男子会がスタート

男性も生協を通じて様々な活動に取り組めるように「コープぎふ男子会」がスタートしました。



e-フレンズwebカタログオープン

パソコンやスマートフォンからいつでも気軽にご注文いただけるようになりました。

くらしの活動



コープぎふの森・関 間伐体験



お米づくり体験、れんげ畑交流会(西濃)

開発商品



あら、便利!!
パックとサーモン(多治見)

社会の出来事

- ソチ冬季五輪開幕
- 消費税8%に引き上げ
- 広島県豪雨・土砂災害発生

組合員数 22万5,070人

出資金 39億1,713円

事業高 265億1,829万円

コープぎふの取り組み

- ◎ 長良店リニューアルオープン
- ◎ フェスタin西濃開催
- ◎ 赤ちゃんサポートスタート
- ◎ ベスト消費者サポーター章受章
- ◎ NPT再検討会議へ 生協代表団が平和アピールに参加



2015

平成27年度



コープぎふ長良店リニューアルオープン

地域のくらしに役立つお店を目指して長良店をリニューアルオープンしました。(11月27日)



NPT再検討会議へ 生協代表団が平和 アピールに参加

4月27日からニューヨークで開催されたNPT再検討会議に合わせて、生協代表団が核兵器廃絶に向けて平和のアピールをしました。



ベスト消費者サポーター章受章

消費者支援の取り組みに功績のあった団体として「ベスト消費者サポーター章」を受章しました。



子育て支援エクセレント企業に認定

平成27年度「岐阜県子育て支援エクセレント企業」として認定されました。



ベビーマッサージ教室



フェスタin西濃開催

大垣市のソフトピアジャパンで開催された「フェスタin西濃」では、オリジナルソングに合わせたダンスコンテストも行われ、4,000名の方にご来場いただきました。



セカンドハーベスト名古屋へ食品提供を開始

コープぎふ、コープあいち、コープみえ(東海コープ)で、セカンドハーベスト名古屋へ食品の提供が始まりました。



赤ちゃんサポートを開始

宅配利用料無料や対象商品の割引など、子育て世帯を応援するサポートを開始しました。



くらしの活動



お茶摘み体験(岐阜西)



食育企画in飛騨 夏野菜を使った
カレーづくり(飛騨)



赤ちゃんサポート離乳食づくり(中濃)

社会の出来事

- 北陸新幹線開業
- スポーツ庁発足
- パリ同時多発テロ発生
- マイナンバー制度開始

組合員数 22万8,844人

出資金 40億3,433円

事業高 264億2,681万円



コープぎふの取り組み

- ◎ フェスタ in 東濃開催
- ◎ わが家の声カードスタート
- ◎ 循環型社会の実現に向けてエコセンター稼働
- ◎ 組合員の見守り登録制度スタート



フェスタ in 東濃を開催

多治見市のセラミックパークMINOにてフェスタin東濃を開催し、4,500名の方にご来場いただきました。



新農産セットセンター始動

野菜や果物、卵などの農産商品をセットする農産セットセンターが始動しました。



山県市飼料用米のお米づくり体験交流会を開催

せいきょう牛乳の生産者が牛の飼料として活用する飼料用米の圃場で、お米づくり体験交流会を開催しました。



ユニセフ協会5周年こどもの広場を開催

JR岐阜駅北口駅前広場にて、岐阜県ユニセフ協会設立5周年ユニセフこどもの広場2016が開催されました。



組合員の見守り登録制度スタート

共同購入事業でご登録いただいた方にいつもと違う異常を感じた場合、ご登録いただいた先に連絡する「見守り登録制度」がスタートしました。



わが家の声カードスタート

ふだん会えない方やお休み中の方の声もお聞きする「わが家の声カード」の取り組みが始まりました。

くらしの活動



エコちゃんクラブ川の生き物調べ



商品探検隊(美濃酪連)

開発商品



せいきょうのサラダチキン(西濃)

社会の出来事

- ◎ 熊本地震発生
- ◎ 北海道・岩手台風被害
- ◎ 鳥取県中部地震災害発生

組合員数 23万3,497人

出資金 41億5,724円

事業高 264億9,353万円

コープぎふの取り組み

- ◎ おとなの健康大学スタート
- ◎ 夜の森のさくらを植樹
- ◎ コープぎふフェスタin飛騨
- ◎ ヒバクシャ国際署名運動



おとなの健康大学がスタート

中高齢者の健康づくりを応援する取り組み「おとなの健康大学」がスタートしました。



夜の森のさくらを植樹

東日本大震災での東京電力福島第一原発事故により、全町避難を余儀なくされた福島県富岡町の「夜の森」のさくらを各務原市市民公園に植樹しました。



エシカル消費推進の取り組み

誰かの笑顔につながるお買い物「エシカル消費」推進の取り組みを行いました。

くらしの活動



恵那店夏祭り

社会の出来事

- ◎ 英政府EU離脱正式通知
- ◎ 九州北部豪雨発生
- ◎ 天候不順で野菜高騰

組合員数 23万7,850人

出資金 41億7,770円

事業高 267億1,219万円



コープぎふフェスタin飛騨

飛騨でコープぎふフェスタを開催し、3,000名を超える方にご来場いただきました。



ヒバクシャ国際署名運動

「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」活動に賛同し、ヒバクシャ国際署名に取り組んでいます。



コープぎふ住宅事業が再スタート

人と人との関わりを大切に、想いや希望が実現できるよう住まいづくりのお手伝いをします。



コープ共済プラチナ85が誕生

85歳までの組合員にご加入いただける共済が誕生しました。



焼き鳥用もも串8本入り(岐阜南)



コープぎふの取り組み

- ◎ 芥見店リフレッシュオープン
- ◎ 中部学院大学・JAめぐみの・コープぎふ連携で商品開発
- ◎ コープぎふフェスタin中濃



芥見店リフレッシュオープン

より組合員の声に応えられるお店を目指します。



コープぎふフェスタin中濃

JAめぐみの本店を会場に1,500名にご来場いただきました。15周年から始まり県内5圏域最後の開催として盛り上がりしました。



中部学院大学とJAめぐみの・コープぎふ連携で商品開発

中部学院大学の学生とJAめぐみの・コープぎふが連携して、地元の産物を利用した商品の開発に取り組みました。



豪雨災害県内お見舞い活動

7月に発生した豪雨では、県内の被災地にお見舞い訪問を行いました。



音声カタログリニューアル

目の不自由な方にもよりご利用いただきやすくなりました。

コープぎふの取り組み

- ◎ コープぎふ20周年企画
- ◎ 食生活改善普及月間お弁当づくり
- ◎ ハピハピボックスプレゼント開始



コープぎふ20周年企画を開催(中濃支所 ゴールドパック見学)

20周年を記念して産地見学や配送トラックラッピング、東日本大震災スタディーツアーなど、様々な取り組みが開催されました。



20周年記念のラッピング配送トラックが完成

20周年を記念して、各支所1台ずつ新しいデザインのトラックが走ります。組合員さんの投票で新しいデザインが決定しました。



産官学連携で「フレイル予防弁当」を開発

岐阜市、岐阜女子大学、コープぎふで、高齢者の健康づくりを応援する「フレイル予防弁当」を開発し、長良店、芥見店で販売しました。



ハピハピボックスプレゼントを開始

子育て応援の取り組みとして、1歳未満のお子さんのいるご家庭に、子育てに便利な商品の詰まったハピハピボックスプレゼントがスタートしました。

20th Message



コープぎふ 専務理事
吉岡 俊雄

コープぎふ 20周年によせて

これまで多くのお取引先の皆さま、地域の皆さま、そして組合員、職員に支えられ、助けられてコープぎふは県内各地域で活動をしてきました。あらためてお礼申し上げます。

この10年間で組合員は20万人から24万人に増え、より多くの県民の皆さまの暮らしに寄り添い、お役立ちをすすめることができました。

少子高齢化がすすむ中、くらしや、くらしの中から生まれる願いにも様々な変化があります。組合員の願いにお応えできるよう、事業や活動も柔軟に変化をさせてきました。そして益々変えていかなければなりません。

一方、変えたくないものとして、組合員の声を聴くこと、そしてお応えすること、このことを通じて組合員のくらしの役に立つこと、人と人とのつながりを大切にすることがあります。これから先10年の時代はこれまで以上に大きく変化します。そうした中でも、より一層組合員や地域の皆さまのくらしに貢献し、喜んでいただけるよう邁進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

くらしの活動



防災学習会(中濃)



アライダシトレッキング(東濃)



平和行進(岐阜)

社会の出来事

- 平昌冬季五輪開幕
- 西日本豪雨災害発生
- 築地市場、豊洲市場へ移転

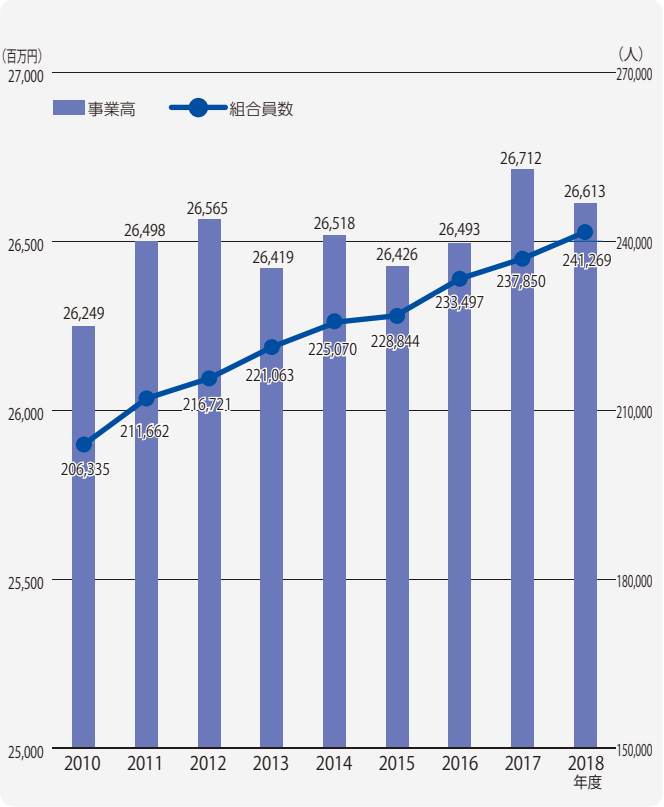
組合員数 24万1,269人

出資金 42億2,268円

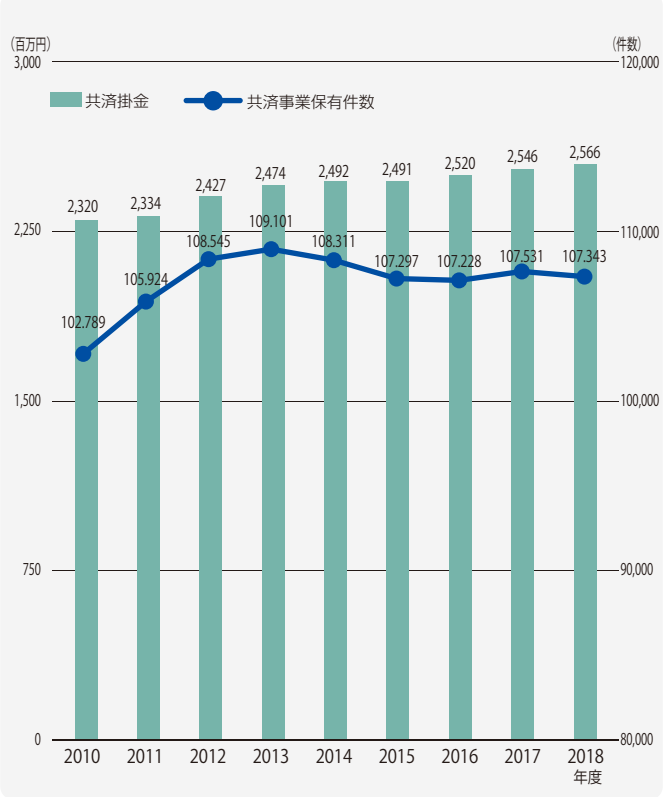
事業高 266億1,307万円

事業の推移

事業高・組合員数の推移



共済掛金・共済事業保有件数
(たすけあい)《あいぶらす》《ずっとあい》(終身医療)《ずっとあい》(終身生命)



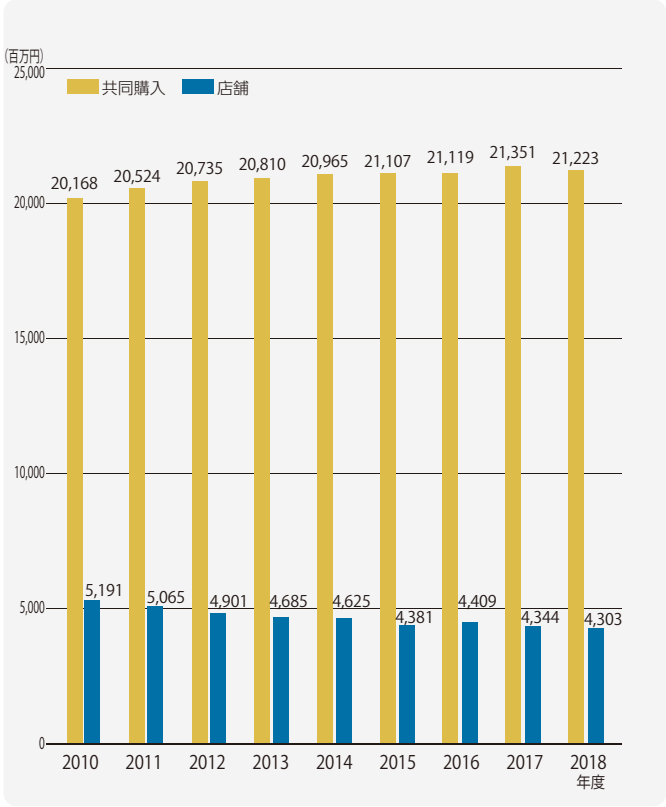
介護事業利用者のようす
(2018.3.21～2019.3.20)

●訪問介護	3,399人
●居宅介護支援	2,838人
●福祉用具	1,172人

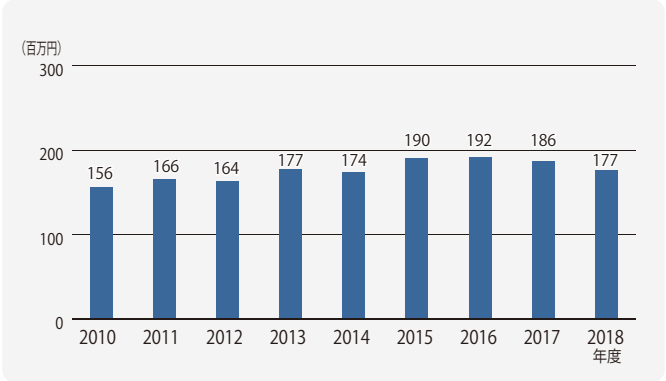
葬祭事業利用者のようす
(2018.3.21～2019.3.20)

●葬儀実施件数	166件
●式場数	96会場

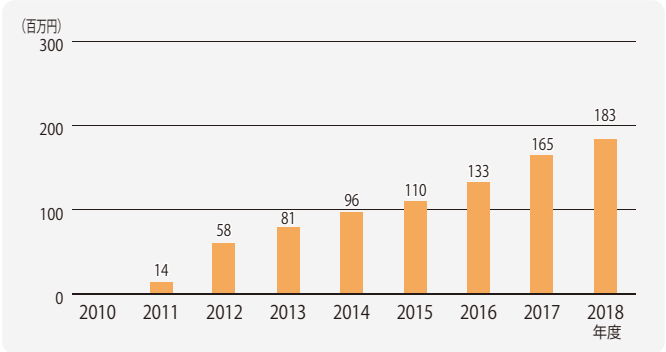
共同購入・店舗供給高



介護事業収入



夕食宅配供給高



住宅事業利用者のようす
(2018.3.21～2019.3.20)

●リフォーム	287件	●新築	3件
●シロアリ	194件		
●畳・ふすま	54件		

コープぎふの今

概要

名称	生活協同組合コープぎふ(略称:コープぎふ)	事業内容	共同購入事業 (グループ購入・コープ宅配・ステーション購入)、 店舗事業、介護事業、住宅事業、生活サービス事業、 共済・保険事業、葬祭事業、夕食宅配事業
設立	1999年(平成11年)3月21日 岐阜県内3生協(飛騨生協・岐阜地区市民生協・岐阜消費生協)が合併して発足	事業所	共同購入(9支所・各地域に商品受け取りステーション) 店舗(6店舗) 介護事業(5事業所)
本部	〒509-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町1-4-1 TEL 058-370-6888(代表) HP https://www.coop-gifu.jp/	組合員数	24万1,269人
理事長	大坪 光樹	出資金	42億2,268万円
副理事長	上林 美也子(非常勤)		
専務理事	吉岡 俊雄		
常勤理事	戸高 秀信		
常勤監事	丹羽 裕孝		
営業エリア	岐阜県全域		

職員数
(合計1,232人)

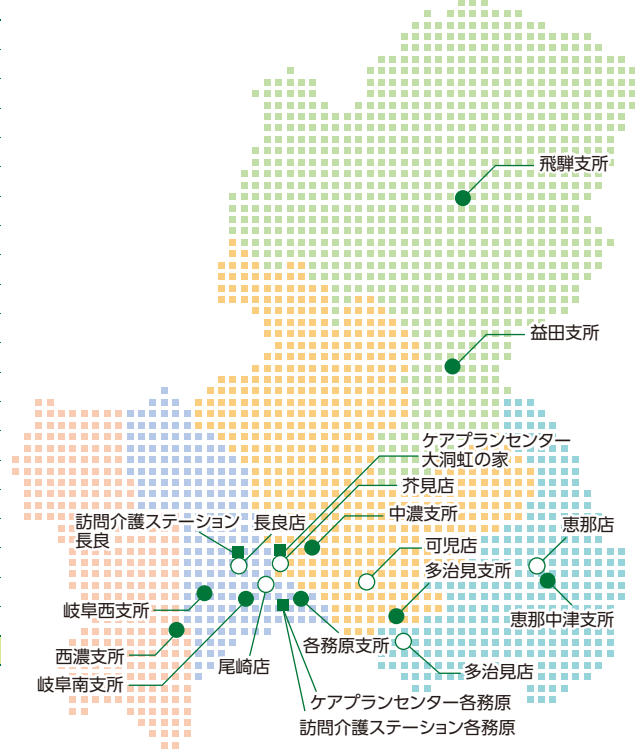
正規職員	福祉常勤専任職員	定時職員
385人	23人	824人

※2019年3月20日現在

自治体別の加入率

自治体名	組合員数(人)	加入率
1 岐阜市	47,832	28.55%
2 羽島市	4,897	19.85%
3 各務原市	16,524	30.04%
4 山県市	2,623	27.26%
5 瑞穂市	4,987	22.21%
6 本巣市	3,090	26.74%
7 岐南町	2,067	19.89%
8 笠松町	1,536	18.17%
9 北方町	1,713	23.06%
10 大垣市	14,632	23.38%
11 海津市	2,882	24.96%
12 養老町	2,516	26.89%
13 関ヶ原町	722	28.26%
14 垂井町	2,605	27.05%
15 安八町	1,258	26.31%
16 神戸町	1,719	25.75%
17 輪之内町	715	21.78%
18 池田町	2,216	27.38%
19 揖斐川町	2,158	30.22%
20 大野町	2,101	28.27%
21 関市	11,097	33.17%
22 美濃市	2,539	33.96%
23 美濃加茂市	6,294	28.88%
24 可児市	14,785	37.46%
25 郡上市	4,804	33.53%
26 川辺町	1,300	36.24%
27 坂祝町	904	28.02%
28 白川町	1,226	41.73%
29 富加町	645	33.13%
30 東白川村	374	52.23%
31 七宗町	433	32.93%
32 八百津町	1,403	38.26%
33 御嵩町	2,179	32.96%
34 多治見市	17,889	41.78%
35 中津川市	12,192	41.33%
36 瑞浪市	4,902	34.99%
37 恵那市	10,771	59.71%
38 土岐市	7,151	33.15%
39 高山市	11,783	35.58%
40 飛騨市	2,786	33.23%
41 下呂市	5,322	46.92%
42 白川村	278	59.78%
43 県外等	1,419	0.00%
合計	241,269	31.33%

支所・店舗



地域の見守り活動・災害時協定締結

◆コープ見守りねっと ※2019年6月20日現在

共同購入事業の配送エリアとしている岐阜県全域を対象に、地域の高齢者、子どもなどの異変に気づいた時、コープぎふから自治体等指定の窓口につながります。

連携している自治体・社会福祉協議会

県内28市町村・1社協と提携

岐阜圏域:岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町
西濃圏域:大垣市社会福祉協議会・海津市・養老町
中濃圏域:関市・美濃加茂市・可児市・郡上市・川辺町・坂祝町・白川町・富加町・東白川村・七宗町・八百津町・御嵩町
東濃圏域:多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市
飛騨圏域:高山市・下呂市

◆災害時協定 ※2019年6月20日現在

岐阜県の市町村と「災害時における応急生活物資支給に関する協定」を結んでいます。

締結している自治体

県内18自治体と締結

岐阜圏域:岐阜市・羽島市・各務原市・瑞穂市・本巣市・岐南町
西濃圏域:大垣市・海津市
中濃圏域:関市・御嵩町・七宗町
東濃圏域:多治見市・可児市・恵那市
飛騨圏域:高山市・飛騨市・白川村・下呂市

コープSDGs行動宣言

コープぎふは、すべての目標に関係する多様な社会的活動に取り組んでいます。

 1 貧困をなくそう ●ユニセフ支援活動 ●ディルマスクールバックプロジェクト	 2 飢餓をゼロに ●フードバンクの支援 ●WFP学校給食プログラム支援 (レッドカップキャンペーン)	 3 すべての人に健康と福祉を ●介護事業 ●福祉活動助成 ●おとなの健康大学
 4 質の高い教育をみんなに ●食育 ●商品学習 ●LPA	 5 ジェンダー平等を実現しよう ●男女共同参画の取り組み	 6 安全な水とトイレを世界中に ●コアノンスマイルスクールプロジェクト
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ●太陽光パネル	 8 働きがいも経済成長も ●働きたい! 応援団ぎふ ●ワークライフバランスの推進	 9 産業と技術革新の基盤を作ろう ●リサイクルの推進
 10 人や国の不平等をなくそう ●フェアトレード	 11 住み続けられるまちづくりを ●たすけあい活動 ●地域見守り活動 ●被災地支援活動	 12 つくる責任つかう責任 ●栽培自慢・はぐくみ自慢 ●エシカル消費 ●リサイクル推進
 13 気候変動に具体的な対策を ●温室効果ガス排出削減 ●家庭でのCO₂削減啓発	 14 海の豊かさを守ろう ●コープの森づくり ●海洋環境配慮型商品の普及	 15 陸の豊かさを守ろう ●森林環境配慮型商品の普及 ●コープぎふの森・関 ●飼料米の推進
 16 平和と公平をすべての人に ●コープぎふ平和憲章 ●ピースアクション ●ヒバクシャ国際署名	 17 パートナリシップで目標を達成しよう ●協同組合間協同 ●地域との見守り協定 ●災害協定	

**2 飢餓をゼロに**

CO・OP×レッドカップキャンペーン

対象商品を1品
ご注文いただくごとに1円が、国連WFPに寄付され、飢えに苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。

ガーナ共和国へ「食」の支援

学校給食プログラム

米、穀物、豆類、栄養強化ビスケットなどの学校給食を提供し、学校への出席率向上や児童の栄養不良を改善します。

**持ち帰り食糧プログラム**

出席率が一定以上の女子児童に対し、家庭へ食糧を提供します。

**6 安全な水とトイレを世界中に**

CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

対象商品1品をご注文いただくごとに1円が、ユニセフを通じて寄付され、楽しく学べる環境づくりに役立てられます。

**アンゴラ共和国の学校を支援**

学校に給水施設を設置

基本的な給水システム、雨水タンク、手押しポンプの井戸など、清潔な水を提供するための環境整備を行います。

先生への研修

子どもたちがより楽しく、効率的に学習できるように指導方法など、先生への研修を行います。

**14 海の豊かさを守ろう**

コープの森づくり

コープの森づくりマークがついた商品を1品ご注文いただくごとに1円が、産地の海・森・サンゴ礁を守る活動に使われます。

**北海道・野付 魚を増やす植樹活動 沖縄・恩納村 サンゴの植えつけ**

川の上流で森を育てることで、土砂の流れ込みを防ぐだけでなく、栄養豊富な川の水が海に溶け込み、豊かな海の恵みを育みます。

インドネシア・タラカン島 マングローブの植樹

エビの養殖池を作るために伐採した森の再生を目指して、マングローブの植樹をしています。

20th Message



20周年の感謝

この20年でくらは大きく変わりました。誰もが携帯電話を持ち、それはスマートフォンになりました。コミュニケーションの手段はSNSが主になり、誰でも世界に向けて情報発信ができる時代です。くらしの変化のスピードは加速している気がします。一方で、異常気象や自然災害が増え、毎年あらたな被災地が増えています。

こんな時代の中、コープぎふはこれからも人と人のつながりを大切に、持続可能な社会づくりをめざしていきます。おしゃべりの力は絶大です。会って、話して、笑って、元気になる、そんな場づくりを続けていきます。困りごとには共感し、たすけあいの力を発揮し続けていきます。商品を通して、笑顔あふれる食卓を応援します。

組合員も職員も地域の人も、みんな元気で笑顔が広がるように、「生協があつてよかった」そんな声が増えるように、これからもご一緒によりしくお願いします。

副理事長 上林 美也子



組合員さんからのメッセージ

これからも、くらしに寄りそうコープぎふで

「食」というものは大切だと思います。食べたものが体になるのですから。いろいろとこだわりのある生協に入った理由は、正にそこです。(坂松町)

ご飯を作る時間が無いとき、疲れているとき、CO-OP商品にどれだけ助けられたことでしょうか。仕事復帰をして更に頼りにしています。これからも忙しい主婦を応援してください。(笠松町)

子どもが生まれ、安心なものを食べさせたい。また、買い物もままならない子育ての日々の中で、グループ購入で利用を始めました。引っ越してきたばかりで知り合いもなく、お店も知らない私にとって、どれだけ力になってくれたのか。生協さん、ありがとう!! (各務原市)

商品クラブに入り、生協商品の学習会に参加したことが思い出です。家族により良いものを食べてもらいたいという気持ちで、商品のお勉強をし、知れば知るほど商品が好きになり、その商品を作っている会社や社長さんまで好きになりました。(可見市)

子どもが「これ、おいしいね。どこで買ったの?」、母「生協さんだよ」、子ども「やっぱりか!!」。わが家の生協あるあるです。(美濃市)

母から私へとずっと生協です。そして今は息子達も生協です。安心して安全に食べられる。それが生協です。(高山市)

結婚して転居した土地で知り合いの方がいなく、出産後、寂しい思いをしていた時に近所の方に声をかけていただいて共同購入を始めたのが入ったきっかけです。子育てでママで生協商品を使ってパーティーをした事が嬉しく懐かしい思い出です。(関市)

私が小学生の頃、初めて生協の牛乳を飲んで子どもながらもにも美味しく感じ、50過ぎのおばさんになった今でも牛乳は大好きです。生協の牛乳は欠かしたことはありません。(瑞浪市)

子供がアレルギー持ちですが、アレルギー表示が見やすく、食べられる商品も多く、大変助かっています。(羽島市)

長女が誕生し、買い物に出るのも大変な時に声をかけていただき生協を始めました。福岡→愛知→岐阜と移りましたが、今でも生活の中なくてはならないものです。長女も3人の子の母となり、生協にお世話になっています。これからも未永くよろしくお願いします。(恵那市)

出産を機に利用を始めたが、育児と仕事に追われる毎日を助けてもらいとても助かっています。(飛騨市)

生協に入ったのは1人目の子がまだ小さい時。地域のママ友が誘ってくれました。友達がどんどん増え、一緒に生協の商品で食事をしたり、おしゃべりしたり、行き詰りそうだった私を救ってくれた生協さん、ありがとう!! (関市)

お取り寄せページを毎週楽しみにしています。全国の美味しいモノの紹介を期待しています。(山県市)

子どもが生まれてから生協を利用させてもらっています。子育てが忙し中、すぐ簡単に作れるものが多くとても助かりました。これからも子育てでママを応援するような商品を提供してください。(高山市)

コープを利用して今年で12年になります。入ったきっかけは、一番上の子が生まれた時に同じアパートに住んでいた方に声をかけていただきました。専業主婦で、初めての子育てにノイローゼになりかけていた時に生協にはとても助けられました。(岐阜市)